



SPIDER V ファミリー

SPIDER V 240HC

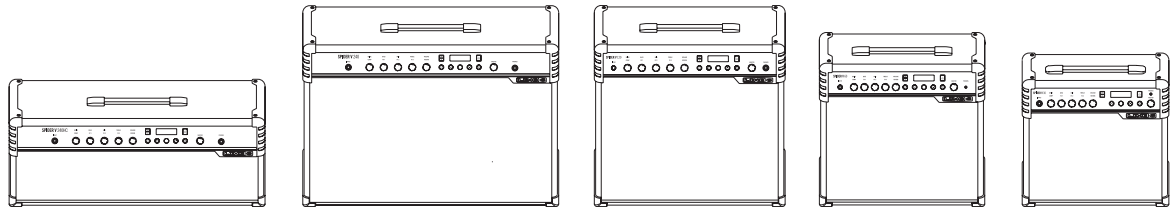
SPIDER V 240

SPIDER V 120

SPIDER V 60

SPIDER V 30

パイロットガイド ▶



SPIDER V 比較チャート

特徴	SPIDER V 240HC	SPIDER V 240	SPIDER V 120	SPIDER V 60	SPIDER V 30
アンプモデル	78	78	78	78	78
キャビネットモデル	23	23	23	23	23
エフェクトモデル	101	101	101	101	101
アンプワット数	240W (120 w/片側)	240W (120W 片側)	120W	60W	30W
モノ/ステレオ	ステレオ	ステレオ	モノ	モノ	モノ
スピーカーサイズ	2 x 4" 16Ω	2 x 12" 4Ω	1 x 12" 4Ω	1 x 10" 4Ω	1 x 8" 4Ω
ツイーターの構成	2	2	1	1	1
XLR ダイレクト出力	はい	はい	はい	いいえ	いいえ
USBオーディオインターフェース	はい	はい	はい	はい	はい
ヘッドフォン出力	6.3mmステレオ	6.3mm ステレオ	6.3mm ステレオ	3.5mm ステレオ	3.5mm ステレオ
FBV サポート	はい	はい	はい	はい	はい
デモループ	はい	はい	はい	はい	はい
メトロノーム	はい	はい	はい	はい	はい
ルーパー	はい	はい	はい	はい	いいえ
Relay ワイヤレス対応	はい	はい	はい	はい	いいえ
外部スピーカー出力	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
重量(kg)	13.00	21.05	12.70	9.30	7.35
サイズ(mm)	684 x 276 x 271	684 x 550 x 271	520 x 489 x 271	442 x 430 x 230	392 x 380 x 208

概要

Line 6® Spider® Vファミリー・パイロットガイドへようこそ! 本ガイドでは、バージョン2.0ファームウェア (またはそれ以降)を搭載したオリジナルSpider VアンプおよびSpider V MkIIアンプの特徴と機能を紹介いたします。* Spider Vアンプは、モデリング技術を活用してギターアンプの1つまたは複数の特定モデルのサウンドをエミュレートします。それらには、アンプを通したギター信号のサウンドを変更あるいは増強させるための内蔵エフェクトも含まれています。以下は、Spider Vアンプに搭載された機能の概要です。

* お手持ちのSpider Vアンプを最新版のファームウェアにアップデートする際は、<https://line6.com/software>から無償のLine 6 Updaterソフトウェアをダウンロードしてお使いください。

特徴:

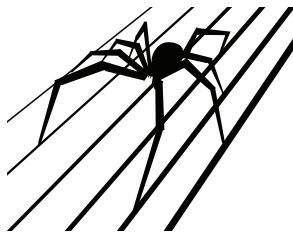
- ブリティッシュとアメリカン・クラシックからモダンなハイゲイン・アンプまでの 78種類のギターアンプモデル。
- 4種類のマイクモデルと共に24種類のスピーカー・キャビネット
- 101種類のエフェクト(ディストーション、ダイナミクス、モジュレーション、ディレイ、リバーブ、EQ その他)
- 最大8種類のエフェクトを同時使用
- スマートFXノブ(複数のパラメーターをコントロール)
- ビルトイン Line 6 Relay® ワイヤレス受信機 - Relay G10TおよびG10TI送信機と互換性がある(別売)。
- XLRダイレクト出力でPAミキサーまたは録音デバイスに接続します。
- 内蔵の練習ツールにはチューナー、メトロノーム、ドラムループ、デモリフとルーバーが含まれています。
- Line 6 FBV™ 3フットコントローラー、FBV Shortboard MkII、FBV Express MkIIとFBV 2 (別売り)を使用してメモリーを選び、エフェクトをコントロールします。
- アコースティック・ギターのために設計されたエンハンス・サウンドとアンプ・モデル。
- 録音とエディットのためのUSBオーディオ・インターフェースとiOSデバイス・ポート。

- アップデートはLine 6 Updaterアプリ(MacとPCコンピュータ)、そしてSpider Remoteアプリ(iOSとAndroid™モバイルデバイス**)でダウンロードが可能です。
- ステレオ・ヘッドフォン出力端子
- MP3プレーヤーまたはその他オーディオソース用の3.5mm AUX 入力
- フルレンジ・オーディオのためのツイーターで、オーディオ再生に優れたサウンド品質。

Spider V Remoteアプリ

Windows®とmacOSコンピュータ - Spider V RemoteアプリでSpider Vをコンピュータと接続し、エディット、バックアップ、そしてサウンドを管理することができます。更に、customtone.comからトーンをダウンロードしてお手持ちのSpider Vに追加することができます。無料のSpider Remote編集ソフトをダウンロードする場合は、ウェブブラウザで line6.com を選び、[Downloads]をクリックして画面の指示に従って操作してください。

iOSとAndroid™モバイル・デバイス - iOSとAndroidデバイス用のSpider V Remoteアプリを使用すれば、クラウドから何千ものトーンを検索し、あなたの「My Tones」ライブラリーへダウンロードしたり、更には、Spider Vでメモリーのエディットや管理をすることができます。

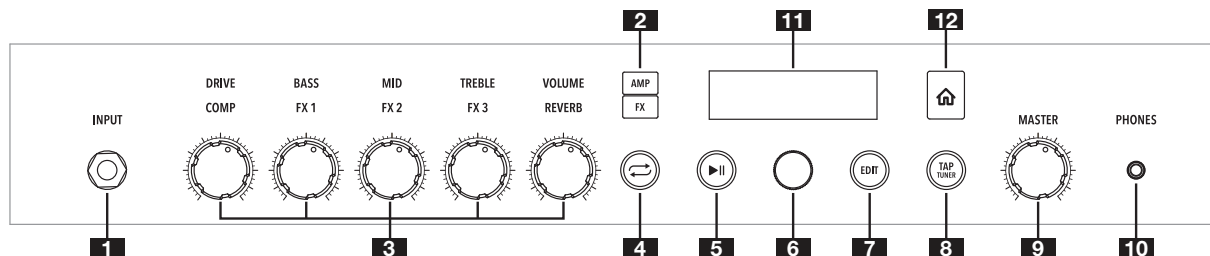


同梱品: SPIDER Vアンプ、パワーケーブル、パイロットガイド

* Spider V 30を除く全てのモデルで利用可能です。

** Android OS 5.0+または最新の高性能オーディオとマイクロUSB 2.0 OTG (On-The-Go) ホストモードアダプターを必ずご使用ください。詳細はline6.com/androidをご覧ください。

フロントパネルコントロール



- 1. INPUT端子** - ここにギターケーブルを接続します。Relay G10TまたはG10TI*送信機は、入力ジャックに挿入することで同期および充電が可能です。
- 2. AMPとFXボタン** - AMPまたはFXボタンを押して、どちらのノブでエディットを実行するかを選択します。AMPを選択した場合、それらのノブでアンプモデルのパラメーターをコントロールすることができます。FXを選択した場合、それらのノブでスマート・エフェクトをコントロールすることができます。
- 3. AMPとFXノブ**

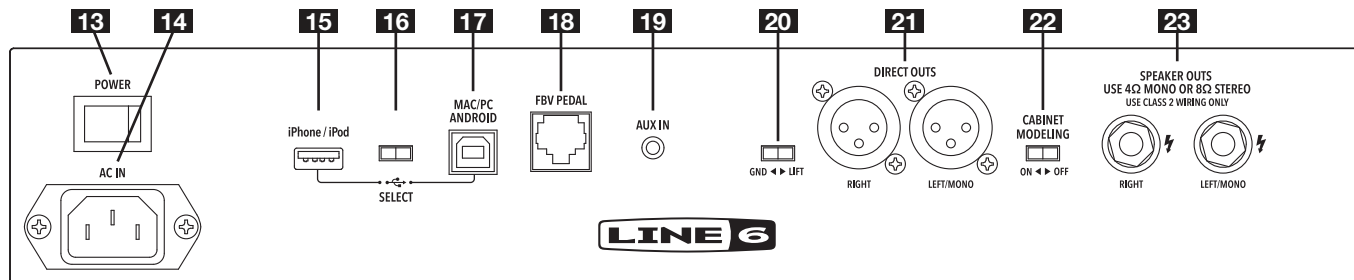
AMP - DRIVE - 他のアンプのボリュームやゲインノブと同様に、このノブでサウンドにどれだけの「濁り」や「歪み」を与えるかを設定します。**BASS, MID**と**TREBLE**コントロールは、各アンプモデルで最適なトーンコントロールを提供できるようにカスタマイズすることができます。**VOLUME**でメモリーのボリュームをコントロールします。これがサウンドのボリュームレベルを調節しマッチさせる基本的な方法です。

FX - FX1, FX2とFX3 - アサイン可能なスマートエフェクトは、それぞれが以下のように色分けされています。ダイナミクス(黄)、ディストーション(オレンジ)、モジュレーション(青)、ディレイ(緑)、ピッチ/シンセ(紫) **COMP**は演奏時にボリューム・ブースターとして、あるいはダイナミクスを制限したいときに使用します。**REVERB** は音の空間的な広がりをコントロールします。
- 4. クイック・ループ・ボタン** - 押すとクイック・ルーパー・モードへのオン/オフが切り替わります。(Spider V 30を除く全てのモデル)
- 5. 再生/ポーズ・ボタン** - ギターデモのリフ、またはメロノーム/ドラム・ループを開始または停止します。

- 6. 選択ノブ** - このノブには画面のメニューを選択したりスクロールさせるブッシュ機能が用意されています。このノブを長押し、または2度押しして現在のサウンドを保存します。
- 7. EDITボタン** - このボタンを押してプリセットを開き、そのエフェクトブロックとパラメーターを画面に表示させて編集します。
- 8. TAP/TUNERボタン** - 長押ししてチューナーにアクセスします。もう一度押しして終了します。音楽に合わせてこのボタンをタップすることで、ディレイのテンポとモジュレーションエフェクトを設定します。
- 9. MASTER ノブ** - アンプとヘッドフォン(接続時)の全体の音量を設定します。
- 10. PHONES 端子** - ここにステレオヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンが接続されている場合、スピーカーはミュートされます。この端子はダイレクト出力としても使用します。ステレオケーブルを使用してミキサーや録音機器と接続します。
- 10. AMPとFXボタン** - AMPレイヤーまたはFXレイヤーのどちらかを選んで押します。
- 11. 画面** - 現在のメモリー・ネーム、エディット可能なパラメーターやグローバル・セッティングを表示します。
- 12. ホームボタン** - 迷った時、このボタンを押すことでどのメニューからでもホーム画面に戻り、現在のメモリーのネームを表示させることができます。このボタンを長押しすると、Global Settings画面が開きます(本書後半の「Global Settingsパラメーター」表を参照してください)。

* Spider V 30を除く全てのモデルで利用可能です。

リアパネルの接続



- 13. POWER スイッチ** - アンプのオン/オフを切り替えます。
- 14. AC IN** - 同梱の電源ケーブルをここに接続します。電気情報については、リアパネルに記載されている表示をご覧ください。
- 15. iOSポート (USB A)** - ここに標準LightningケーブルでiOS機器を接続し、**Spider V Remote**モバイルアプリを使用すれば、トーンの編集、アップデート、再生、そしてオーディオの録音を行うことができます。このポートから機器に電源を供給することができます。このポートにiOS非対応機器を絶対に接続しないでください。
- 16. USB SELECT スイッチ** - USB AとUSB B端子間で切り替わります。一度に使用するポートは1つのみです。
- 17. Mac/PC/Android - USB Bポート** - Mac/PCコンピュータ、またはAndroidモバイル機器 (OTGアダプター使用)を接続してトーンの編集、アップデート、再生、そしてオーディオを録音します。
- 18. FBV PEDAL** - 対応するLine 6 FBVフットコントローラーをここに接続します。
- 19. AUX IN** - AUXオーディオ入力はMP3プレーヤーや他の音源を直接 (未処理のまま)アンプのスピーカーヘルートさせます。
- 20. GND-LIFT*** - XLRダイレクト出力用のグラウンドリフト・スイッチです。

21. DIRECT OUTS* - XLRケーブルを接続してオーディオをPA、ミキサーやオーディオインターフェースへルーティングさせます。ヘッドフォンが接続されている場合を除き、出力レベルは**MASTER**ノブで減衰することはありません。

注意: **DIRECT OUTS**端子(XLR)へ他の機器(ミキサー、録音インターフェース等)を接続する場合、**SPIDER V**にはファンタム電源を使用しないでください。ファンタム電源を**Spider V XLR DIRECT OUT** 端子へ接続する必要がある場合は、**GND-LIFT**スイッチを「**GND**」に切り替えて**INPUT**端子のアースとファンタム電源供給側となる機器のアースの間に電力が流れないようにしてください。

22. CABINET MODELING - このスイッチで、キャビネットモデリング(スピーカー・キャビネットとマイクのエミュレーション)とフルレンジシステムを外部スピーカーでアクティブにさせるかどうか、をコントロールします。

23. SPEAKER OUTS - ここに外部スピーカーを接続します。少なくとも、4Ωで100W、または8Ωで50Wに対応するスピーカーキャビネットをお使いください。**SPIDER V 240HC**は外部キャビネットを接続しなくても機能します。このモードを使用すれば、内蔵2ウェイステレオスピーカーシステムがフルレンジなステレオオーディオを再現します。外部キャビネットが一旦接続されると、内蔵スピーカーは高周波のみを再現し、外部キャビネットは低、中域を再現するように自動的に設定されます。

* Spider V 120、240と240HCでのみ利用可能です。

方法:

メモリーの選択

1. ホームボタンを押せば、いつでもホーム画面に戻ることができます。ホーム画面にはプリセット名と位置が表示されています。
2. LCD画面下の**選択**ノブを回して、メモリーリストを一覧します。

セッティングの保存

1. Save画面が表示されるまで**選択**ノブを長押しします。
2. **選択**ノブを回して文字を選択し、プリセット・ネームを編集します。
3. **選択**ノブを**押す**と文字がハイライトで表示されます。
4. 文字を変更するときは**選択**ノブを回します。注意: TAP/Tunerボタンを押せば、大文字、小文字、数字/記号に切り替えることができます。
5. プリセットの保存を終了する場合は、**選択**ノブを長押しします。

メモリーをコピーする

1. Save画面が表示されるまで**選択**ノブを長押しします。
2. **選択**ノブを回し、「Destination」をハイライトさせてからノブを押します。**選択**ノブを回し、保存したいメモリーの保存先(例えば32D)に変更します。これにより、保存先の既存のサウンドが上書きされます。

アンプモデルを選ぶ

1. AMPボタンを押してAMPLIYヤーを選びます。
2. AMPボタンをもう一度押してアンプリストを開きます。
3. **選択**ノブを回して別のアンプモデルを選びます。
4. 終了する場合は**ホーム**ボタンを押します。

スマートFXを使う

Spider Vアンプには、コンプレッサー/ブースターエフェクト、リバーブエフェクト、そしてプリセット毎にアサイン可能な3つのスマートエフェクトが内蔵されています。

アサイン可能なスマートエフェクト: ダイナミクス(黄)、ディストーション(オレンジ)、モジュレーション(青)、ディレイ(緑)、ピッチ/シンセ(紫)

1. **FX**ボタンを押します。フロントパネルのラベルが、それぞれのエフェクト・タイプに応じた色で点灯します。
2. エフェクトの量の増減は5つのノブを回して調節します。エフェクトの量は画面にバー表示されます。あらかじめ、1つのエフェクトが既にバイパスに設定されている場合、ノブを回すことでそのエフェクトが有効になります。ノブをいっぱいまで回して下げれば、そのエフェクトはバイパスされます。

他のFXモデルを選ぶ

1. **FX**ボタンを押してスマートエフェクト機能を選択します。
2. **選択**ノブを回して変更したいエフェクトをハイライトで表示させます。
3. **FX**ボタンをもう一度押してFXリストを開きます。
4. **選択**ノブを回してエフェクト・モデルを一覧します。
5. 終了する場合は、**選択**ノブ、または**ホーム**ボタンを押します。

ショートカット: 変更したいエフェクトのノブを回します。エフェクトの量は、そのエフェクト名と共にLCD画面に表示されます。情報の表示は3.5秒で終了します。**ロータリーノブ**を回してFXモデルを変更します。

エフェクトをバイパス/有効にする

1. FXボタンを押してFXレイヤーを選びます。
2. **選択ノブ**を回してバイパスまたは有効にしたいエフェクトをハイライトで表示させます。
3. 選択ノブを押せば、ハイライトで表示されたエフェクトがバイパスまたは有効になります。
4. 終了する場合は**ホーム**ボタンを押します。

クイックルーパーを使う*

Quick Looperモードへ入るときは、**クイックループ**ボタンを押します。

ループを録音する場合:

1. 録音を開始するときは**クイックループ**ボタンを押します。これにより、ループの開始位置が設定されます。
2. 再生を開始するときは、**クイックループ**ボタンを押します。これにより、ループの終了位置も設定されます。
3. **クイックループ**ボタンを2度押しすると再生が終了します。

オーバーダビング:

1. ループの再生中に**クイックループ**ボタンを押してオーバーダビングの開始位置を設定します。
2. **クイックループ**ボタンを押してオーバーダブを停止し、再生を開始します。
3. **クイックループ**ボタンを2度押しすると再生が終了します。

再生を終了させるときは**クイックループ**ボタンを2度押しします。

ループを消去するときには、**クイックループ**ボタンを長押しして録音箇所を消去します。

* Spider V 30を除く全てのモデルで利用可能です。

ドラムループの再生

1. プレイバック画面にアクセスする場合は、**再生/ポーズ**ボタンを押します。
2. 左側で音符アイコンを探してください。表示されていない場合は、**選択ノブ**を回して左側のアイコンへスクロールさせ、そこでノブを押すと音符アイコンの表示に変わります。
3. **選択ノブ**を使用してDrum Loopパラメーターをハイライトさせ、演奏させるグルーブとそのボリュームをコントロールするパラメーターを選択します。
4. ドラムループを開始または停止するときは、**再生/ポーズ**ボタンを押します。
5. 終了する場合は**ホーム**ボタンを押します。

メトロノームを使う

1. プレイバック画面にアクセスする場合は、**再生/ポーズ**ボタンを押します。
2. **選択ノブ**を回して左側のアイコンへ画面をスクロールさせてノブを押すと、メトロノーム・アイコンへ表示が変わります。
3. メトロノームを開始または停止するときは、**再生/ポーズ**ボタンを押します。
4. 終了する場合は**ホーム**ボタンを押します。

デモサンプルの再生

1. プレイバック画面にアクセスする場合は、**再生/ポーズ**ボタンを押します。
2. 選択ノブを回して画面左側のアイコンへスクロールさせます。選択ノブを押すと、ギター/テープ・アイコンに表示が変わります。
3. **選択ノブ**を使用して、「Demo Riff」パラメーターをハイライトさせてリフを選びます。

4. デモを開始または停止するとき、**再生/ポーズ**ボタンを押します。
5. デモリフの再生中に、プリセットを変更たり、アンプモデルとエフェクトを変更することができます。
6. 終了する場合は**ホーム**ボタンを押します。

サウンドをエディットする

Spider Vには、内蔵されたプリセットの全てのパラメーターへアクセスすることができる、「詳細な」エディットメニューが用意されています。これにより、ノイズゲート、アンプ PRESENCE パラメーター、キャビネットモデル、マイクのセッティング等さらに多くのパラメーターへアクセスすることも可能です。サウンドを自由にエディットする方法:

1. **EDIT**ボタンを押します。
2. 選択ノブを回してパラメーターリストをスクロールします。
3. 選択ノブを押し、パラメーターを選択します。選択ノブを回してパラメーターの値を変更します。
4. 選択ノブをもう一度押すと、リストをスクロールできる画面に戻ります。
5. 終了する場合は**ホーム**ボタンを押します。

Relay G10TまたはG10TII ワイヤレス充電と同期

Line 6 Relay G10TまたはG10TIIワイヤレストランスミッターは、ワイヤレス対応のSpider Vアンプに最適なアクセサリで、これまで以上に簡単にパフォーマンスをワイヤレスに活用できます。G10TまたはG10TIIは自動的にあなたのアンプと充電し、ペアリングします。

- Spider V 60、120、240、240HC対応
- このトランスミッターはほぼ全てのインストゥルメントタイプで動作が可能です。
- 複雑なセットアップ不要のプラグ&プレイ。

Relay G10Tの充電と同期方法:

1. Relay G10TまたはG10TIIトランスミッターを**INPUT**端子に差し込みます。Spider Vが最適な操作チャンネルを選び出し、トランスミッターも充電します。
2. 数秒後には、トランスミッターを使用する準備が整ったことを知らせるチェックマークが画面上に表示されます。Relay トランスミッターを外して、ギターに差し込みます。
3. Relay が確認されると、その**電池寿命**もまたホーム画面に表示されます。バーが3本表示されている場合、バッテリーがフルである事を意味します。
4. トランスミッターを充電できるように、必ず**SPIDER V**アンプを電源に差し込んで電源を入れてください。
5. Spider Vの電源がオフの場合、送信機は充電されません。使用されていない場合は、アンプから送信機を取り外すことをお勧めしますので、充電は保持されます。

他の対応するLine 6 Relayギターワイヤレストランスミッターを使用する:

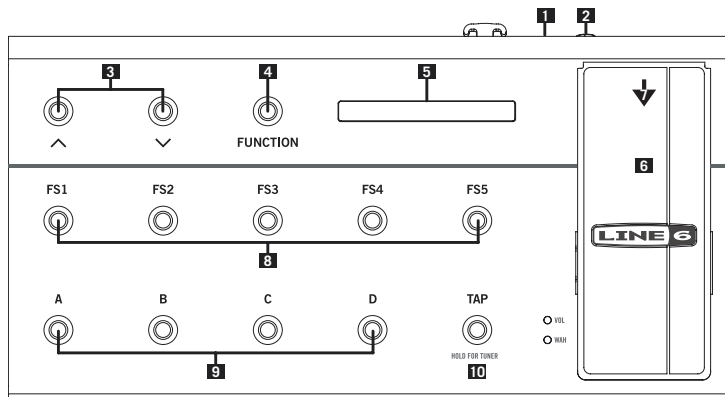
RF2を使用するRelayワイヤレストランスミッターであればどれも、ワイヤレスレシーバー内蔵のSpider Vアンプと共に使用することができます。これは以下を含めます: **Relay G30**、**G50**と**G90**トランスミッターバック、Line 6 **XDV**シリーズ・ワイヤレスマイク これらのトランスミッターを使用する場合は、Global Settingsメニューから利用するワイヤレスチャンネルを手動で設定してください(「Global Settings/パラメーター」表参照)。

フットコントローラーをSpider Vと共に使う

対応する**FBV**コントローラーをSpider Vアンプ背面の**FBV PEDAL**ポートへ差し込みます。

FBV 3

Line 6 FBV 3は、対応するLine 6アンプとエフェクトをハンズフリーでコントロール可能な次世代型フットコントローラーです。お気に入りのプリセットの保存やリコール等、他にも多くの機能が用意されています。ギタリストのパフォーマンスにとって究極のツールです。結局、あなたが集中すべきことは演奏です。アンプのノブに専念することではありません。FBV 3なら、メモリーの変更、エフェクトのバイパス/有効の切り替え、ルーパー機能の使用、更にはボリュームとワウ・エフェクトのコントロールが可能です。



FBV 3フットコントローラー

1. 先ず最初にFBV 3をSpider VのFBV PEDAL端子へ接続します。接続すると電源が入り、現在のメモリーのネームが表示されると共に対応するフットスイッチが点灯します。
2. Line 6 EX-1等の専用のエクスペッション・ペダルは、Spider Vと共に使用することで、そのEXP端子に接続すれば専用のボリューム・ペダルとして機能させることができます。

3. ▲/▼フットスイッチでバンクを順に変更します。
4. FUNCTIONフットスイッチでルーパーをコントロールします。1回押しで録音、再び押しで再生、更にもう一回押しとオーバーダブに入ります。停止するとき、2回続けて押しください。ループを消去するとき、長押しします(停止時)。
5. LCD画面に現在選択したメモリーが表示され、新しいバンク内にそのメモリーが一時的に表示されます。その際、エフェクトがバイパスまたは有効に設定されていれば、そのエフェクトも一緒に表示されます。
6. エクスペッション・ペダルを使ってボリュームをコントロールする。
7. ペダルのトウスイッチを押して(強く押す)ワウ・エフェクトを作動させます。トウスイッチを再び押しと、ボリュームをコントロールするペダルに戻ります。
8. フットスイッチのA, B, CとDは、それぞれが現在選択されているバンク内のメモリーを選択します(次の記載を参照)。
9. FS1, FS2, FS3, FS4とFS5フットスイッチは現在のメモリー内のエフェクトをコントロールします。FS1は常にCOMPIにアサインされています。フットスイッチFS2~FS4はアサイン可能なエフェクトであり、FS5はREVERBです。
10. TAPを繰り返し押ししてタイムベースのエフェクトのテンポを設定します。TAPを長押ししてチューナー・モードに入ります。チューナーを終了するとき、再び押します。

FBV Shortboard MkII

FBV Shortboard MkIIコントローラーユニットは、以下を除き、FBV 3とほぼ同様の機能を備えています:

- **FUNCTION 1**で**COMP**エフェクトをコントロールします。
- **FUNCTION 2**で**LOOPER**をコントロールします。
- **FS2**で**Stomp**エフェクトをコントロールします。
- **FS3**で**Modulation**エフェクトをコントロールします。
- **FS4**で**Delay**エフェクトをコントロールします。
- FBV Shortboard MkIIIは赤いLEDのみの仕様のため、FBV 3と同じ各色での表示はできません。

FBV Express MkII

FBV Express MkIIユニットは、メモリーの切り替え、ボリューム、ワウやアサインしたパラメーターのエクスペッション・ペダルのコントロール、そしてクロマチック・チューナー画面等、ハンズフリーで操作を行う重要な機能を備えています。

FBV 2

フルサイズのコントローラーを持ち歩くのは気が引ける? もうそんな必要はありません! **FBV 2**ならプリセットをスクロールできて、小型で軽量。ギグバッグに余裕で入ります。左右の矢印のラベルのついたスイッチで前の、次のメモリーを順に選ぶことができます。

プリセット・セッティング

各Spider Vサウンドは複数の処理「ブロック」で構成されています。それらはエディット画面内に上から下へと順に表示されるため、**EDIT**ボタンでいつでもアクセスすることができます。

ノイズ・ゲート → ボリューム → Wah → 3エフェクト・スロット → Amp → Cab → EQ → Compressor → 3エフェクト・スロット → Reverb

随分と沢山あるように見えますが、機会としては、与えられたメモリー内の2、3のアクティブ・ブロックを使用するだけです。この処理チェーンで、事実上、どのようなトーンでも思いのままに作成することができます。

ClassicとFull Rangeスピーカー・モード

Spider Vバージョン2.0には、**Full Range**スピーカー・モードに加えてClassicスピーカー・モードも含まれています。**Classic**モードを選択して作成されたプリセットでは、従来のコンボアンプで得られる演奏感を提供します。Full Rangeモードを選択して作成したサウンドは、CDで聴かれるような「プロデュースされた」トーンに仕上がります。またアコースティック・ギターにも最適な選択となります。プリセットの中でスピーカー・モードを変更するときは、**EDIT**ボタンを押してリストの中の「Cabinet」選択までスクロールします。「Speaker」を選択し、**SELECT**ノブを押します。ここで「Full Range」または「Classic」を選びます。

グローバル・セッティングとワイヤレス・チャンネルの選択

1. Global Settings画面にアクセスする場合は、**ホーム**ボタンを長押しします。
2. **選択**ノブを回してセッティングをスクロールします。
3. **選択**ノブを**押し**てセッティングを選択します。
4. セッティングを変更するときは**選択**ノブを回します。
5. **選択**ノブをもう一度押すと、リストをスクロールできる画面に戻ります。
6. 終了する場合は**ホーム**ボタンを押します。

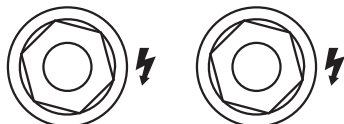
Global Settingsパラメーター

パラメーター	値	詳細
Spider V	2.00.00	現在のSpider Vファームウェアバージョンを表示します。
Wireless	Off, Auto, Manual	デフォルトは Auto に設定されていて、Spider Vが最適なワイヤレス・チャンネルを決定します。特定のチャンネルを使用したい場合は、 Manual に設定してください。これにより複数のRelay G10Tワイヤレス・システムを同時に使用してもチャンネルがごちゃ混ぜになるのを防ぐことができます。
Channel	1~14	「Wireless」を Auto に設定すると、最適なワイヤレス・チャンネルが表示されます。 Manual に設定すると、この設定で使用するチャンネルを決定します。
Wireless Rx	1.00.00	内蔵ワイヤレス・レシーバーの現在のファームウェアを表示します。
Looper Pos	Pre, Post	内蔵ルーバーの位置を選択します。 Pre の位置内で演奏したサウンドによるループが未処理のまま録音されます。これはメモリーを試聴する際に便利です。 Post の位置内では、処理されたループが録音されます。処理済みのトーンでループを録音し、それをギターライブで演奏する際に別のサウンドとして使えるのが便利です。
Knobs	Relative, Absolute	AMPノブで Relative コントロールを使用するかどうかを決定します。これは、ノブの実際の位置がプリセット値と合わない場合、突然値がジャンプするのを防ぐことができるコントロールです。 Absolute モードの場合、ノブの値はそのノブが調節された時の実際のノブ位置に即時にジャンプします。
TAP Light	On, Off	点滅しているTAP TEMPOボタンを点燈させるかどうかを選択します。
Phones Mode	Phone, Line	Phones に設定した場合、ヘッドフォンが接続されるとSpider Vによってスピーカーがミュートします。 Line に設定した場合、スピーカーはミュートせず、ヘッドフォン・レベルは MASTER ノブでの音量調節ができなくなります。特にSpider V 30/60を使用する場合、録音やPAIに接続したときなど、Lineを使用するのが便利です。
Factory Reset	Factory Reset	全てのグローバル・セッティングとメモリーを出荷時のデフォルト状態へ戻します。 ヒント: ファクトリー・リセットを行う前に Spider Remote アプリでカスタム・プリセットをバックアップしてください。

外部スピーカー・キャビネットをSpider V 240HCと共に使う

8 OHM STEREO

SPEAKER OUTS
USE 4Ω MONO OR 8Ω STEREO
USE CLASS 2 WIRING ONLY



RIGHT

LEFT/MONO



4 Ohms MONO (using one jack only)

8 Ohms — STEREO — **8 Ohms**
RIGHT ————— **LEFT**



150 WATTS
MAXIMUM PER SIDE

4 OHM MONO

SPEAKER OUTS
USE 4Ω MONO OR 8Ω STEREO
USE CLASS 2 WIRING ONLY



RIGHT

LEFT/MONO



4 Ohms MONO (using one jack only)

8 Ohms — STEREO — **8 Ohms**
RIGHT ————— **LEFT**



150 WATTS
MAXIMUM PER SIDE

ご購入・お取扱いに関するお問い合わせ窓口

Line 6インフォメーションセンター

ナビダイヤル(全国共通番号)

TEL 0570-062-808

上記番号でつながらない場合は03-5488-5472におかけください。

受付時間 月曜～金曜 11:00～17:00 (土日・祝日・センター指定定休日を除く)

メールでのお問い合わせ

修理に関するお問い合わせ窓口

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル(全国共通番号)

TEL 0570-012-808

上記番号でつながらない場合は053-460-4830におかけください。

受付時間 月曜～金曜 10:00～17:00 (土日・祝日・センター指定定休日を除く)

メールでのお問い合わせ

輸入発売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン

LM営業部 ギター営業推進課

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

TEL 03-5488-6195

© 2021 Yamaha Guitar Group, Inc. 著作権所有

Line 6、Line 6商標、Spider、Relay及びFBVは米国及び他の国々で登録されたYamaha Guitar Group, Inc.の商標です。Apple、iPhone、iPod、LightningとMacは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。Appleは、この機器操作または、安全規制規準に関する一切の責任を負いません。iOSとは米国および他の国々で登録されたCiscoの商標です。Android及びGoogle PlayはGoogle LLCの登録商標です。Windowsは米国及び他の国々で登録されたMicrosoft Corp.の商標です。

シリアル番号: _____

